

エクストリームシリーズ2009 尾瀬檜枝岐大会

尾瀬檜枝岐大会 優勝チームコメント

とれいるざんまい 武井 正幸 さん

私にとって3年ぶりの尾瀬檜枝岐大会。今回は名門とれいるざんまいのメンバーとして参加しました。チームメンバーは久保田さん、杉山さん、武井。

久保田さん、杉山さんに私がどこまでついていけるか。これでチーム力が決まるのでスタート前まで「ついていけなかったらどうしよう・・・」と少し不安だった。

ブリーフィングで地図を配られると3人が思い思いに各自の地図にルートを書き込み、その後、CP1~3の取り方を少し話してあとはスタートを待つ。

スタートと同時にスキー場を直登、一気に心拍数が上がる。CP1,3,2と取って、CP4へ向かうが、CP4がある廃道の入口が見つからず、地元の人に教えてもらう。CP4に向かうとき徐々にレースに出た杉山さんの足下が若干危なくなったが、その後は立て直しガンガン進む。一気にトレッキングセクションを終え、村中オリエンテーリングに入る。

すぐ後ろを見るとKIWAMIがいる。

村中オリエンテーリングも順調にポイントをまわり、最後のポイント(民宿)でチェックしてもらうため、久保田さん、杉山さんが民宿の玄関に入るがなかなか出てこない。見ると麦茶を飲んでる。すかさず私も頂く。「つめたくて、うまいー!!」民宿の方の心遣いに感謝。

その後、チームチャレンジ(岩魚つかみ)もクリアし、後半のトレッキングに入る。CP12への上りでも後ろを見るとすぐ近くにKIWAMIがいる。少なからずプレッシャーを受けながら淡々とCP13目指して尾根を上る。途中の1350m付近でCP14へ向かう西の尾根との合流を確認する。当初、西の尾根から沢の中にあるCP14を取る計画を立てていたため、CP13を取ったらずに先ほど確認した1350m地点まで引き返し西の尾根に向かう。ここで久保田さんの野生の感が炸裂「沢の中、行けるんじゃないか?」確かによく見ると沢の中が通れそうに見える。一か八かで沢に下りるとどンドン下ることができる。(最終的にこの選択が大きなアドバンテージとなった)あとは沢をひたすら下ってCP14を取り、走ってトレッキング終了。

あと残るはMTBのみ。

地図を見ると舗装路+林道、MTBの担ぎはないらしい。でも高度差が500m!!走り始めてすぐに両足が攣る。さらに、久保田さん、杉山さんのペースについて行けず徐々に遅れる。すると久保田さんが戻ってきて腰を押しもらいぐんぐん進む。結局、林道終点までほとんど押しもらう。

CP18まで行ったらあとは下り。気持ちよく下る。いままでの苦しさから完全に解放された至福の時だった。そしていよいよゴールという瞬間、いままでに味わったことのない人生最大の足攣りが!!ゴールは目の前なのでなんとか我慢して乗り続けてゴール。しかし、痛くてゴール後、そのまま倒れ込む。5分ほど横になりようやく立ち上がって写真撮影。こんなに辛いゴールは今までに一度もなかった・・・。

表彰式は檜枝岐村の方々が用意してくださったバーベキュー。

これでもかかってくらの肉の量に驚きました。すごくうまい!! 他の参加者の方々と話をしたりして楽しい時間を過ごすことができました。

今回のレース、私にとってはとても辛く楽しいレースでした。檜枝岐の大自然を存分に堪能でき最高でした。スタッフの方々、檜枝岐村の方々、本当にありがとうございました。

尾瀬檜枝岐大会 参加チームコメント

サニーサイト信州美酒らんまん 横内 尚郎 さん

やってきました尾瀬檜枝岐、はるかな尾瀬は信州からはるか遠く、奥只見のくねくね道をぶっ飛ばしてくるので、到着した頃はドライバーも乗っている人もへ口へ口です。

そんなサニーサイトチームですが、今回は3チームエントリーしました。1軍の信州Gekko隊、2軍の信州美酒らんまん、そして今回初参加となる、松本の若葉ちゃん、です。

我々、美酒らんまんチームは今回、Gekko隊のハギさんの中2の娘さん、希実（ノゾミ）ちゃんを迎えました。ハギさんは大体いつもファミリーで応援旅行に来ているのですが、ノゾミちゃんも応援だけではあきたらず、ついに初参戦となりました。普段はテニス部でラケットを持ってテニスボールを追いかけているノゾちゃんですが、今日はメットにリュックのアドベンチャーねーさんです。

紹介が今頃になりますが、我が信州美酒らんまんチームは、私、横内（49才）、寺沢くん（39才、独身）、ノゾミちゃん（13才）と年の差、36才のチームとなりました。

さて、晴天の中、レーススタートです。スキー場の登りでいきなりへばり、先行き不安、それでもその後、林の中を私がちょっと先行してノゾちゃんをテラくんがエスコート、いい感じです。CP4手前の沢では、直径約20cm位の落石が顔の横1m位を勢いよく落ちてきて、ヒヤツとしました。石を落とした時はでかい声で「ラク！」と叫びましょう。

その後、村の中をスタンプを押しながら、CP11のイワナつかみどり場へ、ここで思いのほか苦戦、なかなかイワナをGETできず、体とパスポートはびしょぬれになるわ、アセリと水の冷たさで心臓はバクバクしてくるわ、で一時はどうなるかと思いました。それでも何とかイワナをGETしてハラをCUTして内蔵を取り除きます。生き物をあやめるのは心が痛みます。ゴメンネ。しかし我々は他の生き物の命をいただいて生きているのです。感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

話しがそれましたが、ここからは山登り、何と1軍のGekko隊の前を歩いています。順位は10位くらいでしょうか、ありえない展開です。しかしCP12をすぎるとさすがに抜かれました。そしてしばらくすると、前に行くGekko隊の一本ちゃんとサイトーくんが何やら騒ぎだしました。何と地蜂に刺されたようです。よく見るとミツバチくらいの大きさの黒っぽいハチがブンブン飛んでいます。キンチョールも持っていないし、どうしようと思いながら、回り込んでハチのいないところに避難、救急箱、初登場です。普段は人を救助しているサイトーくん（松本消防署、救急隊員）を素人のオッサンがポイズンリムーバーで毒を抜き、ムヒをたっぷり塗りこんで応急処置です。何とか大丈夫そうなので先を急ぎます。

この辺りから道が不明瞭になり、ヤブっぽくなり歩きにくくなります。しかも店からトラブルのTELがあり（松本でサニーサイトという小さな店をやっています。松本へお越しの際は是非お寄り下さい）何もこんな時に、こんな所でTELしてこなくてもいいだろうと思いつつ、お客さんにあやまりながら歩いていると、今度はノゾちゃんのエスコート役のテラちゃんが後ろで何やら騒いでいます。急いで戻るとノゾちゃんがすわりこんでいます。「ヤベー、ここでリタイヤか」と思いつつ近づいていくと、どうも左足首のあたりが攣ったようです。口を開かせ、食卓塩を口に放り込みながら水を飲ませます。「歩けるか？」と聞くと「うん」と小さい声で返事、おぶってゆくわけにもいかないし、自力で歩いてもらうしかありません。しかしその後のノゾちゃんのがんばりは見事でした。急斜面を登っては下りて来て、おしりはドロドロ、タイツはボロボロ、息もたえだえです。（みんなそうだけど）

そんなノゾちゃんもMTBになると元気回復、今度は私がブレーキになり、足を引っ張ってしまいました。MTBを押しながら「めんぼくない、ゴメンネ」と言うと「うん、いいよ」と言うやさしいお言葉。意識ももうろうとする中、私は、今度はMTBもしっかりとトレーニングしなければ、と心に誓ったのでした。そんな年の差、36才のチームも何とかゴール、無事にゴールできただけで感無量です。そしてノゾミ父ちゃんのGekko隊は、初めての総合3位、よくやった！そして若葉ちゃんチームは完走41位。2回目の中谷さん、初参加のジュンくん、5回目目のフカイくん、無事ゴールできて良かった。それぞれ全力を尽くしたので順位など関係ありません。ゴールできた達成感はみんな金メダルです。



夜は檜枝岐村主催のBBQ大会でイワナとも再会し、飲みや食えやの大騒ぎ、他のチームとも大いに盛り上がり、万歳三唱でお開きとなりました。

最後になりましたが、こんなに楽しい大会をつくりあげてくれたスタッフや関係者の皆様、そして檜枝岐村の皆様には、感謝、感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

また来年も絶対参戦しますのでよろしくお願いします。